

■「戦時下の川越」市立博物館展示	2
■オアシス(プール)利用案内	6
■市長への提案から	7
■道の日・道の愛称決定	8
■第16回川越市総合防災訓練	11
■ <small>表通り</small> 百万灯夏まつり	1

川越景観百選⑩・河越館跡と常楽寺(上戸)



平和は人の心から

戦争は、人を傷つけ、みずからも傷つき、いろいろなものを失い、意味のない結末を迎えます。平和であることの尊さと犠牲になるもののむなしさを人の心は、決して忘れてはいけません。人と人との心の和、平和はすべての人の心から。

*本文は、川越市立博物館「戦時下の川越」に基づいて作成しています。
*「空襲を目前に終戦」は川越市史を参考にしつまとめたものです。

戦時下の川越

川越市立博物館 郭町2-30-1 ☎22-5399
●会期 9月17日(日)まで
●開館時間 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
●入館料 大人200円 学生・生徒100円 児童50円
(20人以上団体割引あり)
●休館 毎週月曜日・8月25日(金)
●交通案内 川越駅から東武バス「札の辻」下車徒歩8分
本川越駅から西武バス「市役所前」下車徒歩5分



「戦時下の川越」

日本は、第二次世界大戦後、さまざまな経済発展を遂げて豊かで平和な社会を築きました。今年、戦後五十周年という節目の年にあたり、平和への関心が高まる一方で戦争に関する意識の変化や風化が進んでいます。しかし、現在の平和な社会の繁栄は、戦争を体験した多くの人の犠牲があったことを忘れてはなりません。私たちに、こうした過去の悲惨な戦争体験から得る貴重な教訓を生かして、平和な社会の実現のために努力をしていくことが求められています。

戦前から戦後にかけての資料は、激動の昭和史を語るうえで欠くことのできないものですが、急速な社会の変化とともに失われつつあります。そうした状況で関連する資料の収集、保存に努め、後世に残し、平和の尊さを語り継いでいくことは、私たちの使命といえます。

国家総動員体制の成立

本展覧会では、主として戦時体制下の市民生活、頻繁に行われた防空演習、工場などへの学徒動員、学校での子どもたちの生活などを紹介します。川越市は、幸いにも大きな空襲を被ることなく終戦を迎えましたが、

日中戦争が長期化するにつれ、政府は兵器などの生産のため、軽工業中心から重工業中心へ産業構造の転換を図りました。そのため、日用品が不足するなど国民の生活はしだいに苦しくなっていました。

加えるものでした。しかもこの法律は、具体的な禁止・制限事項が示されず、政府の命令でそのつど決められました。「国家総動員法」成立への歩みは、昭和六年の満州事変がきっかけから始まり、昭和十三年四月に成立した「国家総動員法」は国民・物資・財源など国のすべてを戦争に投入し、国民の自由や権利に制限を

た市民生活に根ざした諸団体もこうした動きに協力的でした。昭和十年ころ、行政をはじめ、各種市民団体も巻き込んだ選挙粛正運動によって既成政党の勢力が弱まり、軍部の政治的発言力がさらに強化されました。そして、昭和十五年の「大政翼賛会」の成立によって既成政党は解散し、政党政治は完全に崩壊しました。川越市においても昭和十七年の「翼賛選挙」で戦争推進派中心の市会となりました。

一方、市民レベルでは、隣組の整備が指示され、隣組・町内会・村落会・市町村長・都道府県知事・政府という「上意下達」

の制約を受け、子どもたちも銃後を守る一員として犠牲を強いられました。本展覧会が、戦時下の市民生活の様相を知り、多くの市民が犠牲となった戦争について考え、平和に対する意識の高揚と平和な市民生活の発展に寄与する機会になれば幸いです。

隣組は、住民の登録、生活物資の配給、国債の割り当て、消化貯蓄の奨励、戦時政策の宣伝普及などの事務を行いました。また、定期的に集会に出席が求められ、情報や指示のため回覧板が回されました。こうした中で住民の相互監視・干渉が進み、連帯責任の強制など、生活は苦しさを増していきました。しかし、生活必需品の配給事務を行う隣組は、不可欠の存在であり、政府の戦時政策は隣組を通じて、国民に浸透していきました。

戦時統制下における市民経済

昭和十二年九月「輸入品等二関スル臨時措置法」の公布によって軍需優先の戦時物資統制が始まり、同十三年、この統制を本格化した「国家総動員法」によってさまざまな統制令が公布されました。川越市役所でも政府・埼玉県からの指示にしたがって統制を行っていきました。

木炭など生活必需品まで次々と配給制の対象になりました。しかし、生活物資は不足して配給も滞りがちであったため、統制令違反の物資が公道価格より高い値段(ヤミ値)で取り引きされ、人々は足りない物資をこれらで補いました。

さらには政府は、軍事費調達のため、金の即売、金属の強制回収を進め、多額の戦時国債を発行し、貯蓄を強制しました。しかし、終戦を迎えるとインフレによって価値は下落し、国債は紙くず同然となってしまう



防空演習の様子

防空演習

まず、物資の流通が統制され、物資統制は工業用原材料が中心でしたが、昭和十五年ころから女性の服飾品を中心に「ぜいたく品」は製造・販売・使用が禁止され、マッチや砂糖、米、青果物、みそ、しょうゆ、衣類

農村では、米の強制出荷等の命令が出され、主食の増産のため、作物の種類まで制限されました。また、労働力不足や統制による肥料不足のため、さまざまな増産策にもかかわらず、主要作物は収穫量が落ちていきました。それでも埼玉県は、農業県でもあり、川越にも東京方面

から多くの人が買い出しにきました。さらに政府は、軍事費調達のため、金の即売、金属の強制回収を進め、多額の戦時国債を発行し、貯蓄を強制しました。しかし、終戦を迎えるとインフレによって価値は下落し、国債は紙くず同然となってしまう

避難、救護活動、灯火管制などの訓練が行われ、退避こう、防空こうが盛んに作られました。しかし、消化用具も防火用水バケツ、火たき、砂袋程度のもので、こうした防火訓練も実際の「B29」による空襲には、まったく無力でした。

昭和十二年九月十五日から十九日まで軍、官、民合同で東京ほか関東六県下で関東防空演習が行われ、川越市民も参加しています。

訓練を重ね非常に際しても慌てたり混乱することなく落ち着いて国を守り抜かなくてはならぬ」と防空演習の強化が図られました。

銅貨白銅貨ニッケル貨を引換へませう

政府では此度軍艦、大砲、戦車などの軍需資材確保の爲めニッケル貨、白銅貨、アルミニウム青銅貨(十銭及五銭)並に銅貨(二銭、一銭、半銭、五厘及一厘)等アルミ貨以外の總ての貨幣を引換へることにしました。皆さんの御手許にあるこうした貨幣はどしく引換へてお國のお役に立て、下さい。

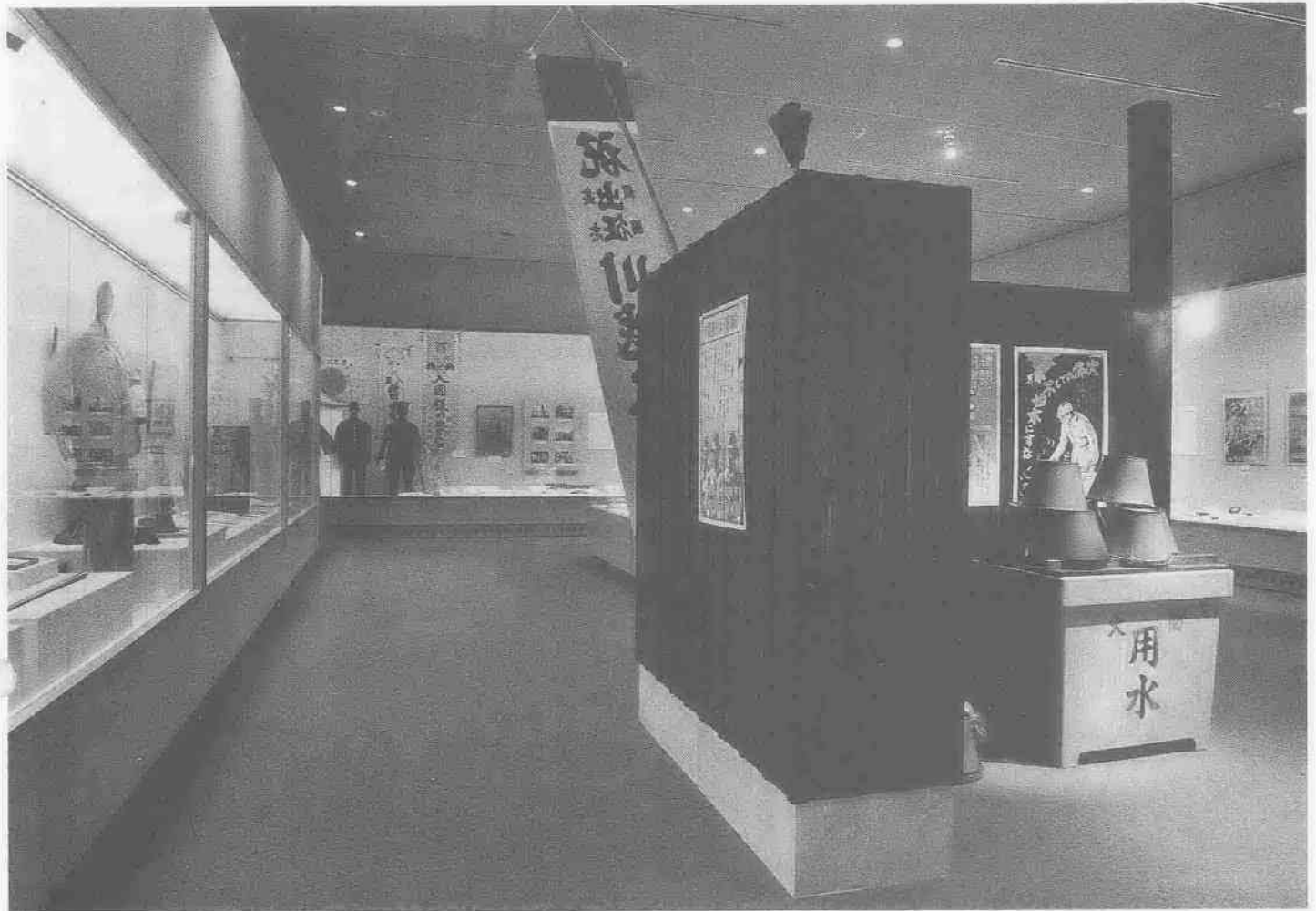
引換機關は

軍需資材確保のため、貨幣の引き換えを呼びかけるポスター

昭和十二年九月十五日から十九日まで軍、官、民合同で東京ほか関東六県下で関東防空演習が行われ、川越市民も参加しています。

学徒に対する勤労動員体制は、精神修養を主目的とした勤労奉仕として昭和十三年から開始されましたが、戦局の悪化とともに国内の労働力が不足し、実質的な労働力として強化されていきました。

国民学校高等科児童の動員は、土地の状況、心身の発達等を考慮し、食料増産を中心に都市では一部工業関係で働くなど適当な作業種目を選び、中学校生徒は、土地の情報、勤労の需要の状況などを考えて食料増産、国防建設事業または工場などの作業に動員、女子については学校設備の工場化を図る。一・二学年生徒の動員については、国民学校高等科児童に



準ずる。

通年勤労動員は、勤労という国家的訓練を通じて生きた教育を受けるといふ勤労即教育という本義の基に実施されました。川越高等女学校生徒の動員状況をみると、入間川河川敷での砂利採取、馬の飼料のための下草刈り、茶摘みなどの勤労奉仕、出征兵士の駅での見送りのほか、実際には多くの女子生徒が東京第一陸軍造兵廠、浅野カーリット工場、帝国火工品製造川越工場などの軍需工場に動員され、女子生徒も動員強化の対象になっていました。

砂利採取、道路工事、報国農園の開墾作業などの勤労奉仕には、中学校の男子低学年生徒も動員されています。戦局がさらに悪化すると動員から除外されていた国民学校初等科の児童も食料増産のための空き地の開墾作業ほか、さまざまな奉仕活動に徴用されました。



出征兵士を見送る川越高等女子校生



国民学校と子どもたち

明治以来、教育においても軍事を帯びていましたが、満州事変以来、特にそれが強められていきました。戦局が長期戦になるにつれ、時局は緊張度を増し、それに対処するために貯蓄奨励、銃後後援、勤労奉仕などが学校に求められました。こうして、学校の銃後の教育が強化されていきます。

昭和十六年四月、第二の学制改革ともいえるべき『国民学校令』が施行され、小学校(尋常、高等)は国民学校と改め、川越においても十六校の国民学校(第一、第二、第三、第四、第五、芳野・古谷・南古谷・高階・福原・大田・日東・霞ヶ関・名細南・名細北・山田)が誕生しました。国民学校の成立は、制度・内容・方法など初等教育全般にわたる大改革でした。それは「未曾有ノ世局ニ際会シテ」、「名実共ニ国民教育ノ面目ヲ一新」しようとするものでした。国民学校においては、初等科六年、高等科二か年とし、教科は、国民科(修身、国語)・理科(算数、理科)・体操科

大日本国防婦人会

(体操、武道)・芸能科(図画、工作、裁縫、音楽、習字)・実業科(高等科のみ、農業、工業、商業、水産)の五教科に編成されました。

教科書も一新され、戦争教材が多く取り入れられ、国民学校としての統一した人格の育成を図るうえで「行」「作業」「読」「訓練」「儀式」などが重視されました。

昭和十四年には、興亜奉公日が制定され、毎月一日には、学校で神社清掃、参拝が行われていました。その後、興亜奉公日は昭和十七年一月二日の東条内閣の新春閣議で廃止され、これに代わって、前年の十二月八日に宣戦の大詔が発せられたこ

とにちなんで、毎月八日を大詔奉戴日とすることが決定されました。川越の国民学校においても毎月八日に詔書奉読、必勝を祈願しての神社参拝などが行われました。

「昭和十七年四月十八日(天気晴れ)零時三十分空襲警報発令せらる」と大東国民学校の日記に記録されています。この日を皮切りに警戒警報、空襲警報の発令される日が増えていきます。第一国民学校の学校日誌

の記録を調べてみると昭和十八年度では警戒警報発令七日、空襲警報発令一日。昭和十九年度になると警戒警報発令六十日、空襲警報発令十九日と格段に多くなっています。このような状

況の中、子どもたちは、どのような学校生活を送っていたのでしょうか。かばんを肩から下げ、防空ずきを携えて登校。はだして登校する子もたくさんいました。かばんの中身は教科書、ノート、筆入れ、そして弁当。弁当は麦飯、芋、芋や豆を米に混ぜたものなどでした。男子は、国民学校生用学生服、女子は自分たちで縫ったもんぺを着用しました。

朝礼、授業、掃除。そして、戦局の悪化に伴い、学校日課の中に麦刈り、どんぐり拾い、防空ごう掘り、落ち穂拾い、報国農場稲刈り、出征兵士宅への手伝い、松根油採集、奉安殿清掃など勤労奉仕や作業が多くを占

めるようになっていきました。学校では、女子のなぎなた、学徒冬季訓練けいこ、木銃を用いた軍事訓練などが実施され、「闘魂錬磨」に結びついた教育活動も展開されるようになりました。遠足は、鍛練遠足。運動会は体育鍛練大会でした。

防空演習もしばしば行われ、「防空演習、防空演習、敵機〇機本土上空に接近中……」の声が流れると子どもたちは、防空ずきをかぶり、近くの林などに駆け込みました。警戒警報発令や空襲警報発令の増加に伴い、登校禁止や登校してもすぐに家庭に戻る日が続ききました。また、国民学校

の高等科の生徒においては、昭和十九年に「国民学校令等戦時特例」が公布され、就学義務が満十二歳までとされたことよって勤労動員の対象になり、川

空襲を目前に終戦

全市をあげて本土決戦に臨もうとしていた市民は、戦時下に要請される国民生活に対して従順に協力し、組織的に臨戦体制を整えていました。また、連雀町に爆弾が投下されたこと、川越駅が機銃掃射を受けたこと、高階にB29が墜落したことなどによって自国の防衛体制を強化する必要を自覚していたといえます。

終戦前日の八月十四日には、熊谷市が空襲を受け、川越市民は大きな不安を感じながらも翌十五日に救援の活動を進めていきました。いずれは川越も空襲を受けるだろうとわさざされていたさなか、正午に終戦の「玉音」が放送されました。無条件降伏の報は、市民に衝撃と精神的虚脱をもたらしたとされています。しかし、大きな戦災を受けなかった川越のまちは、復興に際して有利な資質を残し、それは戦後における新しい川越の出発点になっています。

平和標語審査結果

平成七年度平和標語を募集したところ、市内の小・中学校のうち、下記の十七校から二百五十三件の応募があり、審査の結果、次の標語が入賞しました。

金賞

平和とは人と人との心の和

井上弘淳 芳野中学校3年

銀賞

ちかいます平和とともに生きること
手をつなぎ大きくつくろう平和の輪

田村友見 高階小学校5年
須崎重矢 霞ヶ関小学校5年

銅賞

平和とは心をつなぐ合い言葉
つなげよう平和な世界の心の輪
大切なみんなの平和永遠に

奥沢由香里 大東東小学校5年
田中千絵 名細中学校2年
鹿貫敏明 芳野中学校3年

川越第一小学校	15件
新宿小学校	12件
大塚小学校	37件
泉小学校	15件
月越小学校	15件
古谷東小学校	14件
南古谷小学校	12件
高階小学校	15件
大東東小学校	10件
霞ヶ関小学校	15件
霞ヶ関北小学校	17件
芳野中学校	17件
高階中学校	15件
大東西中学校	15件
霞ヶ関東中学校	10件
名細中学校	12件
山田中学校	7件

戦争体験記募集

戦争体験を次代に語り継ぐことにより、平和の意義を考えるため、市内在住の方から戦争体験記を募集します。「語り継ぎたい、私の戦争体験」をテーマに戦地、家庭、学校などでの体験に基づいて書かれたもの(未発表の内容のものに限り)をお寄せください。また、戦争体験等に関する当時の写真があれば添えてください。*写真は返却しますが、著作物は返却しません。

応募要項 四百字詰め原稿用紙五枚以内
ワープロの場合は、一ページ20字×20行
①題名②住所③氏名④年齢⑤電話番号を明記。
著作物に関する権利は、川越市に帰属します。
応募期限 平成七年九月三十日(当日消印有効)
送り先 ①350 川越市元町一三三ー一
川越市総務部総務課内 戦争体験記募集係
問い合わせ:総務課総務係内線221ー1

川越市の地域福祉の拠点としてオアシスがオープンして、これまでの「福祉」という印象に少しずつ変化が生まれているように感じます。それは、障害者や高齢者の活動施設であるオアシスに多くの方が訪れ、市民ひとりひとりの「ふれあいとやすらぎの場」になっているからです。個性を持ったさまざまな人が共生する社会が社会の本来の姿。「福祉」は、決して特別なものではありません。



温水プール

福祉のまちのオアシス (川越市総合福祉センター)

オープンから一か月が過ぎて

オアシスが、開館から一か月を経過しました。多くの方にご利用いただく一方、「どこにあるのですか」という問い合わせもあります。少し奥まっていることは、静かな反面、わかりづらさにもなっているのかもしれない。

そうした声にこたえて市では、位置を知らせる案内板を設置するほか、八月から団体用の送迎バスの運行を開始。皆さんが利用しやすいオアシスになるように努めています。

初めてのときは、わからないためにとまどいもあるかもしれませんが、慣れていただき、心も身体も安らげる「オアシス」としてご利用ください。

プールでは素直になれる

屋内プールは、オアシスで最も人気のある設備の一つです。利用区分は「高齢者・障害者」の専用時間帯、だれでも利用できる時間帯に分かれ、一回の入場で二時間利用できます。設備を機能的に活用するため、入場者数は、男女各七十五人に制限しています。高齢者・障害者が、プールで泳いだり、遊んだりしている光景は、ほかの施設にはないものかもしれません。それは、オアシスが、だれでもいっしょに楽しめる場所です。

あることを意味しています。ただ、ハンディキャップを持つ方もいますので周囲の状況には、少しご配慮をお願いします。

プールでは、緊張が緩和され、体が動かしやすくなりますが、無理をしては、せつかくの設備も効果的なものにはなりません。水に入るときは十分に準備体操をすることはもちろんですが、水になじんでからしだいに体を動かすようにすると負担が少なくなります。

また、上がる時も水圧と空気が

● 三歳未満は、利用できません。

● 小学生以下の子供が利用するとき、中学生以下の生徒・児童が午後六時三十分以降に利用するときは、保護者が同伴してください。

● 利用するときは、次のことを守ってください。

● プールに入るときは、水泳帽をかぶってください。

● 小学三年生以下の児童が利用するとき、中学生以下の生徒・児童が午後六時三十分以降に利用するときは、保護者が同伴してください。

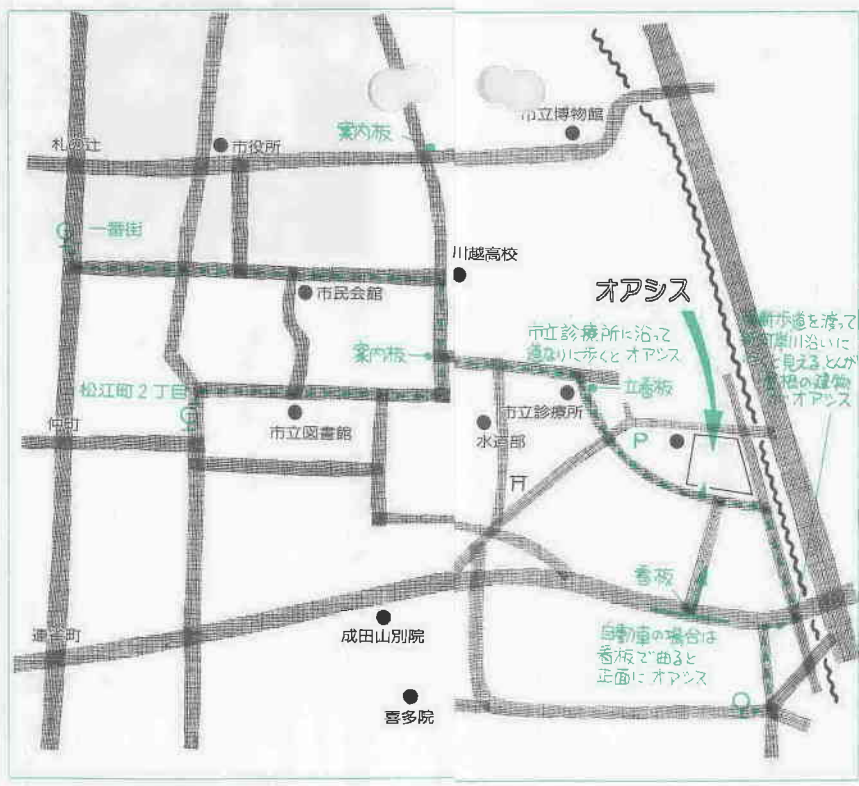
路線バスのご案内

路線バスでオアシスにお越しの方は、東武東上線「川越」、西武新宿線「本川越」または最寄りの停留所からそれぞれのバスをご利用ください。

東武バス
▼川越駅東口から「神明町車庫行き」に乗り、「一番街」下車、千三百メートル

西武バス
▼本川越駅から川越駅東口経由「大宮駅西口行き」または「グリーンパーク行き」に乗り、「仙波下」下車、五百メートル

*路線、運行時刻については、各自でご確認のうえ、ご利用ください。



送迎バス(団体)のご案内

障害者および高齢者の団体(十人以上)の場合、送迎バスがご利用いただけます。

送迎バスの利用を希望される団体は、利用日の一か月前までに予約してください。予約は、オアシスの団体利用とあわせて申し込むことができます。申込時に「集場所」「人数」などを確認し、お知らせください。

八分の利用については、利用日の一週間前までに申し込んでください。

問い合わせ：川越市総合福祉センター・オアシス ☎28-0200

市長への提案から No.17



川越市長 舟橋功一

放置自転車解消のために 皆さんのご協力をお願いします

市政懇談会で頂いたご意見を紹介します。
【提案要旨】
歩道などに置いてある放置自転車のために、車イスが通行しづらくなっている。自転車を撤去、整理し、歩道を広く使えるようにしてほしい。

【お答え】
自転車は通勤、通学、買い物など市民生活に欠かせない手軽な交通手段であり、環境にやさしい乗り物として幅広い年齢層に利用されています。一方、自転車利用の増大は、同時に駅周辺の歩道、車道に大量の放置を生み、身体の不自由な方やお年寄り等の通行、災害時や緊急時の活動などの妨げとなるなど大きな社会問題となっています。そこで、私は各駅周辺に自転車駐車場等の整備を実施し、現在自転車駐車場10か所(内5か所は財団法人自転車駐車場整備センターが管理・運営)、自転車置場(無料)10か所を設置しました。また、一定の要件を満たした場合、民営自転車駐車場の建設等について補助事業を実施しています。さらに、「シルバー人材センター」に委託して、早朝の自転車置き方指導および放置自転車に移動命令等の警告札を付けています。

また、「川越市自転車放置防止条例」に基づき、市内各駅周辺の放置自転車を定期的に撤去し、平成6年度は、延べ199回実施しました。

この放置自転車問題を行政だけの力で解決するのは難しく、自転車を利用する方ひとりひとりがルールを守ることも大切ではないでしょうか。

市民の皆さんが、安全にしかも安心して通行できる歩道を確保するため、今後も、放置自転車対策をさらにいっそう努力してまいりますので、市民の皆さんのご協力をお願いします。

マイウェイ

道路をまもる月間 8月 道の日 8月10日

いつもの道もちょっとした出来事で風景に変化が生まれ、通る人の感じ方によっても千差万別。道が心を經由しているときは「自分の道」のように感じられることもあります。そうした道が集まって、みんなの道になっています。八月は「道路をまもる月間」。八月十日は「道の日」です。道を大切にしてください。

道路の愛称

名前があると愛着も増します。自治会によって愛称を決定した二、三路線、一般募集によって愛称を決定した五路線を紹介します。
*一般募集の中から選ばれた愛称の道路は、二コマ分の大きさを表しました。

1 お成り街道
県道川越・栗橋線・芳野小学校



4 かねつき通り
時の鐘入口交差点・市民会館入口交差点



2 裏宿通り
元町一丁目



5 河岸街道 (栗田町・上野田町)
西武鉄道踏切・上野田町踏切



8 喜多院門前通り
小仙波町三丁目・日枝神社



道路をまもる月間

昭和三十三年以来実施され、安全で快適な道路環境を保持するため、交通安全施設等の点検と整備、道路の正しい利用と道路愛護の思想を幅広く、道路を常に広く、美しく、安全に使用することを目的としています。

八月の運動期間中、道路の正しい利用のため、道路法の指導や車両制限令違反車両の取り締まりの強化、道路に空き缶などを捨てないように啓発するほか、住民参加による道路の清掃美化運動、道路利用についての街頭指導、道路愛護団体の育成などの運動が主になっています。

道の日

道は、古くから文明、文化、産業、経済の発展に欠かせない存在ですが、あまりにも身近なものであるため、その重要性が見過されていくこともあります。そこで、道路の意義や重要性に対する国民の関心と道路愛護の精神を高めるため、昭和六十一年から「道の日」を定め、全国で各種行事や活動が行われています。

わが国最初の道路整備に関する長期計画である「第一次道路改良計画」が大正九年八月十日に実施されたことから八月十日が「道の日」になりました。

道路の愛称が決まりました!

四月十日から五月十二日まで道路五路線の愛称を募集した結果、二百五十六名の応募がありました。これは、生活の中で重要な役割を果たし、人と物の交流によって社会を発展させる道について、皆さんの関心の高さが表れた結果であるといえます。道路の愛称は、道路愛称選定委員会の厳正な審査により、次のとおり決定しました。今後、事業計画に基づいて、各路線に「愛称板」を設置します。
問い合わせ：建設管理課道路管理係 内線3

113

ベストネーミング賞 決定

道路愛称・道路概要・当選者

- 西野四郎さん (豊田本)
- 大谷岩次さん (池辺)
- 20 かすみ東通り (全長約1,100メートル)
東武東上線霞ヶ関駅前から東急団地を経て、JR川越線のガードをくぐり、県道川越・日高線までの通り。終点近くには第三給食センターがあります。
- 小川正夫さん (神明町)
- 生沼英夫さん (霞ヶ関東四)
- 金子郁子さん (鯨井新田)
- 21 かすみ北通り (全長約1,100メートル)
小畔川に架かる高橋から角栄団地を経て、県道川越・越生線までの通り。途中には霞ヶ関北出張所、東京国際大学があります。
- 小川正夫さん (神明町)
- 24 けやき通り (全長約1,000メートル)
東武東上線鶴ヶ島駅前から県道川越・越生線までの南北の通り。両側に大きなけやきがあります。
- 田村耕一さん (霞ヶ関北六)
- 中田紀子さん (栃木県小山市)
- 川村武さん (安比奈新田)
- 石井由実さん (天沼新田)
- 金子郁子さん (鯨井新田)

28 水上公園通り (全長約1,390メートル)
川越西郵便局南側から川越公園(川越水上

16 中台通り
県道川越・所沢線・今福



15 河岸街道 (今福・中壺)
南文化会館・中福観音堂



12 宿中央通り
古谷上・古谷郵便局



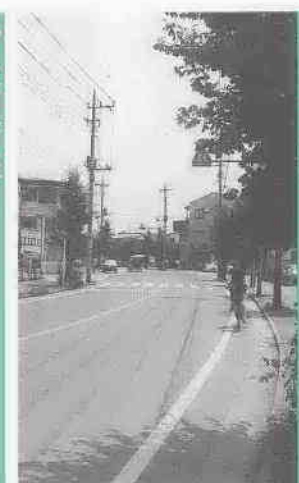
9 一番町通り
南通町・新富町一丁目



10 黒門町通り
脇田山口病院・新富町一丁目



13 いちよつ通り
国道一五四号・県道川越・入間線



17 大田街道
水上公園入口・南大塚



11 八幡通り
古谷上歩道橋・古谷本郷下組



14 並木通り
国道一五四号・清水町



18 さざんか通り
尾崎神社・千日堂



19 さつき通り
千日堂・笠橋



20かすみ東通り
養ヶ岡駅前～県道川越・日高線



21かすみ北通り
高橋～県道川越・越生線



22おいせ橋通り
県道川越・日高線～吉田新町



公園)までの通り。道路の両側には田園が広がっています。

- 吉川清子さん(笠橋)
- 田中達夫さん(藤間)
- 嶋村康恵さん(池辺)
- 石井由実さん(天沼新田)
- 金子郁子さん(鯨井新田)
- 川村武さん(安比奈新田)
- 佐藤澄子さん(吉田)
- 酒井久雄さん(行田市)
- 野村邦子さん(寺山)
- 野口紀代子さん(仙波町一)
- 米良信さん(小室)
- 横山正司さん(富士見市)

プリーズ！ミスター・ポストマン
郵便局職員から道路情報の提供

近年車両の大型化、交通量の増加、工事などにより、道路の傷みが早まる傾向にあります。道路の破損などについて寄せられた苦情や処理要望の件数は、約二千三百件(平成六年度)にのぼっています。

道路の適正な維持管理は、事故防止の面でもきわめて重要なことです。しかし、全長およそ千五百キロメートルの市道の道路状況を担当職員だけで把握することは困難であり、市民の方々から寄せられる情報も重要な役割を果たしています。

このたび、川越市では、道路の管理体制をさらに強化するため、川越郵便局と川越西郵便局の協力により、両局のおよそ二百三十人の外務職員に集配業務中に出た道路情報を提供していただくことになりました。

これによって、今まで以上に早い対応が可能になり、道路管理、事故防止に役立てることができそうです。良好な道路状態を保つため、さらに努力を重ねていきます。市民の皆さんも道路状況についての情報をお寄せください。問い合わせ：道路維持課占用係内線313

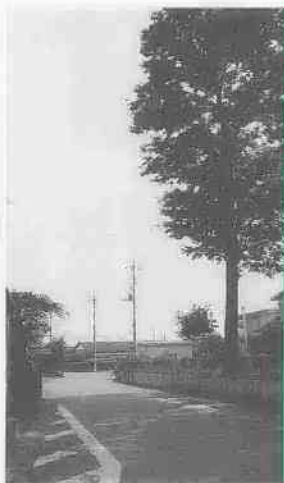
26北山田桜堤通り
国道一五四号～山田



28水上公園通り
川越西郵便局～水上公園



27新田通り
府川～石田



大地震に備えて

八月三十日～九月五日には「防災週間」。これにちなみ、第十六回川越市総合防災訓練を八月二十七日(日)に、鯨井中学校で実施します。

この訓練は、「関東地方に震度六(烈震)の地震が起こり、市内で家屋の倒壊、道路の損壊等の被害が発生し、災害対策本部を設置した」ことを想定して、市内の防災関係機関と自治会連合会名細支会二十三自治会の協力を得て実施

するものです。訓練は午前八時から始まり、避難誘導・救出救助・初期消火など十七種目を予定しています。

「天災は忘れたころにやってくる」とも言われます。いざという時のために、皆さんのお宅や事業所でも災害に備え、対応のしかた、連絡の方法などについて話し合ってみてください。

第16回川越市総合防災訓練
時に鯨井中学校に設置の防災行政無線でサイレンを鳴らします。おまちがえないようお願いいたします。

サイレン	45秒
休み	15秒
サイレン	45秒
休み	15秒
サイレン	45秒

職員を募集します(市職員・消防組合職員)

市職員と消防組合職員を募集します。詳しくは、七月十日発行の広報川越をご覧ください。

市職員

事務職、土木職、建築職、保健婦職、保母職を募集します。

《受験申し込み》

受付日時：八月二十一日(月)～二十三日(水)、午前九時～午後四時

受付会場：市役所五階5A会議室
※郵送不可。

《採用試験》

試験日：九月十七日(日)

試験会場：初雁中学校
《募集案内・申込書の配布》

職員課(市役所四階)、各出張所、南連絡所(アトレ一階)、川越連絡所、本川越駅前センター

身体障害者の採用試験
前記のほか身体障害者を対象として事務職員を募集します。

《受験申し込み》

受付日時：八月二十八日(月)～三十日(水)、午前九時～午後四時

受付会場：市役所四階職員課
※郵送不可。

《採用試験》

試験日：九月二十八日(木)

試験会場：北公民館
《募集案内・申込書の配布》

職員課(市役所四階)、各出張所、南連絡所(アトレ一階)、川越連絡所、本川越駅前センターで配布しています。
問い合わせ：職員課人事係内線22001

消防組合職員

川越地区消防組合では、男子消防職員を募集しています。

《受験申し込み》

受付日時：八月二十一日(月)～二十三日(水)、午前九時～午後四時

受付会場：消防組合消防本部(神明町四八―四)
※郵送不可。

《採用試験》

試験日：九月十七日(日)

試験会場：消防組合消防本部
《募集案内・申込書の配布》

消防本部で配布中です。
問い合わせ：川越地区消防組合消防本部総務課 ☎2210741

健康

骨粗しょう症の予防

最近、報道などで骨粗しょう症が騒がれています。骨粗しょう症は骨量が減って骨がもろくなり、背中が丸くなったたり腰が曲がったり、また転倒などで骨折しやすくなる状態をいいます。昔は農村地帯などで多く見かけましたが、最近は栄養状態がよくなくなり少なくなっています。

食品を主体とした食事をとる。(一日千ミリグラム以上を目標)
●適度の運動を続ける
宇宙飛行士のように無重力の状態では生活すると骨量が減り歩けなくなります。散歩など自分の体力に合った骨に重力のかかる運動を毎日続けましょう。

しかし、女性は妊娠、出産、授乳などで体内カルシウムが不足しがちです。中年以降はホルモンのバランスが乱れカルシウム代謝の異常が起こるため、特に女性の閉経後は急激に骨量の減少を来します。

●生活習慣を見直す
喫煙や多量の飲酒は、骨量を減らします。特に喫煙は体重を減少させ、閉経を早めます。

日本の風土は、欧米に比べてカルシウムの少ない水(軟水)や野菜を食用としています。最近では、食生活の中でも良質のカルシウムを多く含んでいる乳製品の利用が少なくなりました。

●生活環境を整備する
特に高齢者は骨折しやすく、治りが遅く、寝たきりの原因にもなります。転倒などで外傷を受けにくいように生活環境を整備しましょう。

さらに世の中が忙しくなり、栄養管理を十分に考える時間が無くなっていきます。以上のことから骨粗しょう症の予防対策を考える必要があります。

以上のことにご注意して骨粗しょう症にならないよう予防してください。骨量測定で自分の健康状態をチェックするのも結構ですが、子どものときからの予防が一番です。

●食生活を改善する
特に子どものときからカルシウムの多く含まれている自然の

川越保健所・前田和秀所長から原稿をいただきました。

リサイクル型社会を目指して

ごみ問題の深刻化をもちいたした大量生産、大量消費。今、こういったライフスタイルを見直して、地球環境に配慮したリサイクル型社会への転換が求められています。

市では、「川越市廃棄物の処理及び清掃に関する条例」を廃止し、新たに「川越市廃棄物の処理及び再生利用に関する条例」を、十月一日から施行します。

《新条例の主な内容》

■市民によるごみの減量・資源化の推進

リサイクル活動への参加
 集団回収、リサイクルマーケット、バザー等を積極的に活用する。

生ごみの自家処理
 コンポストなどを利用し、ごみの減量を図る。

商品の選択
 ごみになりやすい物は買わない

■ごみ処理手数料の改定(市のごみ処理施設へ搬入した場合)

区分	現行料金	改定料金
家庭系ごみ	十キログラムにつき二十円	十キログラムにつき五十円
事業系ごみ	十キログラムにつき六十円	十キログラムにつき百円
動物の死体	一頭につき三百円	一頭につき五百円

市では、ごみの減量・資源化を図るため、平成七年十月から下記のモデル地区で、半透明ごみ袋による可燃ごみの収集を実施します。

古紙・ペットボトル・びん・かんなどの資源ごみは、集団回収や資源ごみ回収でリサイクルされています。半透明ごみ袋で出していたごみの分別徹底や家庭系ごみと事業系ごみの区別に効果があります。

皆様のご理解とご協力をお願いします。

モデル地区：宮下町一・二丁目、幸町、仲町、小仙波町一・二丁目、仙波町四丁目、新富町一・二丁目、中原町一丁目、パークファミリア、菅間上、菅間中・下(以上十三自治会)

期間：平成七年十月～平成八年三月

半透明ごみ袋モデル地区収集について

野菜、肉、魚などの生ごみを細かく砕いて水といっしょに排水管に流すデイスポーター(生ごみ粉碎器)。一見すると生ごみの減量に効果的とも思えますが、下水処理には困りもの。細かく砕かれたごみは下水管を詰まらせ、悪臭を発生させる原因になります。排出された多量のごみが下水処理場に流れ込むと処理経費がかさみ、施設の維持管理に支障を来します。

もしも、公共下水道が完備していない地域でこれを使用すると、粉碎された生ごみがそのまま河川に流れ込み、水質の悪化を招きます。

市ではデイスポーターの使用を禁止しています。県や市が推薦しているなどというふれこみの悪質な訪問・通信販売にご注意ください。

問い合わせ：下水維持課排水対策係 ☎内線3442

10月から新条例を施行

ようにし、ごみの減量と環境の保護に配慮した商品を選ぶ。

ごみの排出分別への協力
 市が指定するごみの出し方・分け方に協力する。

■事業者の責務の強化
 自己処理責任の明確化

ごみ処理はみずからの責任と負担で行い、家庭系の集積所へは出さず、減量と再利用等を行う。

適正包装の推進
 物の製造・加工・販売の段階で、包装容器などの簡素化および回収に努める。

減量等計画書の提出
 多量排出事業者は、事業系ごみの減量・資源化および適正処理に関する計画書を提出する。

問い合わせ：環境業務課管理係 ☎内線2000-1

世帯数：約三千世帯
 対象物：家庭系可燃ごみ

*モデル地区内の世帯には、半透明袋を無償配布します。可燃ごみ以外は現状の方法で排出してください。

問い合わせ：資源対策課資源対策係 ☎内線2000

このシリーズは、平成六年二月、市が長野県同和教育推進協議会顧問中山英一さんを招いて行った同和問題講演会の要旨を生徒学習課でまとめたものです。

「同和地区」を詠んだ芭蕉

わが国において、近世における俳諧の歴史の中で三つの峰といわれた人がいました。一人は元禄の芭蕉です。二人は天明の蕪村です。三人は文化文政期の一茶です。俳聖芭蕉が生まれて今年には三百年になります。

ご案内のとおり芭蕉の出身は伊賀国、今の三重県の上野市ですが、芭蕉といえは反動的に皆さん思い出される作品はあの「奥の細道」です。芭蕉はおよそ千句ぐらい残しています。その中でたつた一句、ずばり「えた」を詠んだ句があります。えたとはい江戸時代の身分の一階層です。えたという身分です。

皆さんがなじみのあるのは、士農工商です。士農工商というのは身分でしょう。ところがほ

同和教育シリーズ 人間の誇りうるよき

差別とは

んとうは、江戸時代は士農工商という四つの身分だけではありませんでした。そのほかに、えたという身分もつけられていたのです。「非人」という身分もつけられていたのです。江戸時代に、えたといわれた身分の人たち、その子孫の人々を今日同和地区の人々といっています。そういう人たちがまともして住んでいる所、それを同和地区といっています。

芭蕉は今から三百年くらい前に、今風で申しますと同和地区の人々のことを一句詠んでいます。それは、奥の細道の紀行の日程でいうとおよそ半分ぐらいの所です。東北の、今は山形県です。当時は出羽国、そこに大石田という所があるのです。そこは最上川の端にある港町です。庄内地方の穀倉地帯で、朝暗いうちから夜暗くなるまで奴隷のように働いて生産したお米は、大石田に集積されます。そこで船積みされ、最上川を下って日本海の酒田に積み出されます。芭蕉は、ここでその土地の俳諧をたしなんでいる人から請われて歌仙を巻きます。一人は船問屋の高野一茶、もう一人はその土地の大庄屋であった高桑川水。そこへ芭蕉と行を共にした河合曾良、この四人で歌仙を巻いたのです。

(C) (C) (C)

消費生活レポート 20

高額なゴルフクラブの強引な販売

最近、ゴルフクラブの販売に関するトラブルの相談が急増しています。突然、業者から「ゴルフに興味はないか。会って話したい」と電話があり、断っても、しつこく電話をかけてくるというものです。一方的に切ると「途中で切るとはどういうことだ」と言われ、しかたなく会うことに……。申し合わせたファミリールレストランなどに行くと「オーダーメイドのゴルフクラブを買わないか」と勧められます。

クラブの説明を延々と聞かされ、説明を断ると「その気があるから来たのではないか。説明のために費やした時間を返せ、返せなければ契約しろ」と強要されます。中には明け方の五時六時まで長時間拘束されます。結局、契約しなければ帰してもらえないという状況に追い込まれ、断り切れず契約書にサインをしてしまいます。さらに後日「オーダーメイドのため、身体測定が必要」と再度呼び出されしつこく言い寄られてクラブ一本の契約がフルセットの契約に変えられたケースもあります。

このような販売方法はアポイントメントセールスと呼ばれるもので、電話などで呼び出し、しつこく説得し高額な商品を買ってつけるのが手口です。消費者は業者が脅迫めいたことをいうため「何かあったら嫌だ」と思い、業者と会ってしまうことが多いようです。

一度会ってしまうと長時間の勧誘に巻き込まれてしまいます。一番大切なことは、何を言われてもきげんとした態度で断り続け、とにかく会うことは避けることです。

不本意に契約してしまったら、契約内容に不安が生じたりした場合は、クーリング・オフによる契約解除(契約日を含めて八日以内)が可能です。早めに生活情報センターにご相談ください。

生活情報センターでは、商品や契約などに関する相談を受け付けています。

生活情報センター ☎26-7476
 相談日時：毎週月・水・木・金曜日、午前十時三十分～午後四時三十分

「パスポートセンター川越支所」オープン

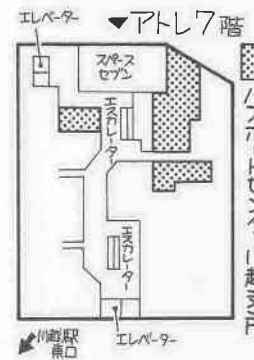
九月一日(金)、埼玉県パスポートセンター川越支所がアトレ七階(田町一〇五)にオープン。パスポートの申請と交付業務を開始します。

川越支所のオープンにより、川越地方庁舎での出張受け付けは、

九月一日(金)、埼玉県パスポートセンター川越支所がアトレ七階(田町一〇五)にオープン。パスポートの申請と交付業務を開始します。

八月二十九日(火)で終了しました。受付日時：毎週月・金曜日(祝日、年末年始を除く)、午前九時～午後四時三十分

問い合わせ：埼玉県パスポートセンター ☎048-6647-40



生活情報センター(アトレ6階)は、8月23日(水)の業務をお休みします。

西後楽会館は、ボイラー検査のため8月22日(火)・23日(水)の2日間、ふるの利用ができません。問い合わせ：西後楽会館 ☎32-6177

温かいご支援に感謝します

阪神淡路地区に甚大な被害を与えた兵庫県南部地震から、およそ七か月がたちました。この間、市民の皆さんからの義援金や現地でのボランティア活動など、温かい支援が続けられています。

これらの善意に対して、芦屋市長からお礼のメッセージが届きましたので、ご紹介いたします。

川越市民の皆様、温かいご支援ありがとうございました。去る一月十七日の阪神・淡路大震災以来、川越市民の皆様から心強い励ましと多くのご支援をいただき、誠にありがとうございます。心からお礼申し上げます。

お陰様で、震災復旧・復興事業も順調に進みはじめ、街中も徐々に落ちつきを取り戻しつつあります。

今後とも、一日も早く芦屋のまちの再生を成し遂げるため、全市を上げて取り組んでまいりますので、皆様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。(原文)

平成七年七月
兵庫県芦屋市長 北村春江

芦屋市長から
お礼のメッセージが届きました

受けませんか 年に一度の人間ドック

国民健康保険加入者

毎日忙しく働いていたり、健康に自信を持っていたりすると、なかなか自分の健康をチェックする機会はないものです。こんなときは、短時間で自分の体の状態を知ることができる人間ドックが便利です。

か出張所、連絡所で確認してください。

対象：川越市の国民健康保険に加入している四十歳以上の方

※申し込み時点の納期までの国民健康保険税を納付済みの方に限りです。

血液・尿・便・呼吸器系・循環器系・消化器系・泌尿器系・眼底などの各検査

受検方法：保険課・出張所・連絡所で「人間ドック受検票」と「人間ドック受診の記録」を受け取り、検査当日に受検医療機関へ提出

受検予約：希望する医療機関に本人が予約

問合わせ：保険課係内線2467

市では、国民健康保険に加入している方の人間ドックを実施しています。一定の年齢を過ぎたら、年に一度は人間ドックで自分の健康を確認しませんか。

受検料：個人負担一万三千三百九十円(市負担二千五百七十七円)

※検査当日、受検医療機関にお支払いください。

検査項目：身体・血圧測定、眼・

問合わせ：資産税課家屋係内線2058

家屋調査にご協力をお願いします

家屋を新築・増築されたお宅に市の職員が直接調査に伺います。家屋の間取りや資料を見させていただきます。固定資産税の税額を計算するために必要な調査です。

算するための調査です。あらかじめ手紙などで連絡して伺います。公正な税額を計算するために必要な調査です。

問合わせ：市民文化課自治振興係内線2412

固定資産評価審査委員会委員が選任されました

七月二十八日付で、次の方が固定資産評価審査委員会委員に選任されました。(敬称略)

野原友次郎 福田五三十一

犯罪のない明るい街づくりを目指して 防犯作文を募集

銃が手に入る社会、麻薬覚せい剤のまんえん、暴力団による犯罪、そして安心して一人歩きできなくなった生活環境の変化……。あなたは、現在の社会と犯罪についてどう考えますか。犯罪のない街づくりは私たちの願いです。

なたの体験談や意見を募集します。最優秀作品は、十月二十三日(日)、「防犯並びに暴力排除推進大会」で発表、応募者には記念品を贈呈します。

テーマ：犯罪のない明るい街づくりを目指して

字数：四百字詰め原稿用紙五枚程度(住所、氏名、年齢、職業、)

電話番号を明記) 提出：九月十一日(月)までに、市役所市民文化課内川越市暴力排除推進協議会事務局(郵送可・〒350元町一三三二)

問合わせ：市民文化課自治振興係内線2412

参議院議員通常選挙の結果(川越市)

政党名	得票数	候補者名 (届け出順・敬称略)	得票数 ()内は全県
平和・市民	756票	さとう泰三	14,248票 (401,053票)
スポーツ連帯	1,127票	高野ひろし	34,828票 (715,527票)
青年	329票	あまかわ由記子	4,314票 (94,680票)
農民連合	459票	あべ幸代	12,897票 (302,184票)
さわやか	818票	桜井ひろゆき	338票 (7,077票)
国民	114票	とこだ和隆	547票 (13,303票)
さきがけ	3,559票	奥貴とし子	1,042票 (18,484票)
自民党	15,525票	深田はじめ	12,510票 (257,681票)
維新	1,219票	石井正弘	393票 (10,028票)
二院クラブ	3,826票	島田洋七	5,316票 (109,059票)
新進	32,016票	有効投票	86,433票
ドライバー	497票	投票率	37.62%
新自由	591票	印は当選者	
共産党	10,757票		
浄霊会	13票		
社会党	12,647票		
新時代党	454票		
雑民	41票		
世直し党	106票		
UFO党	111票		
教育	518票		
福祉	697票		
有効投票	86,297票		
投票率	37.61%		

問合わせ…市選挙管理委員会内線3711

暮らしのびみ講座

環境保全課管理係内線2611

地球にやさしい台所

今回は、ちょっとくふうした料理のお話です。ふだん、お茶殻は捨ててしまうのではないのでしょうか。お茶にはいろいろな栄養素が含まれています。特にビタミンAや食物繊維などは水に溶けにくく、お茶殻にも残っています。お茶殻は冷蔵庫に保管しておき、にんじんの残り皮も利用した「小女子とお茶殻の常備菜」の料理など試してみてください。いかがですか。

■材料(2人分)

お茶殻……………五回分(水を切る)

小女子……………三十グラム

にんじんの皮(千切り)……………一個分

赤とうがらし……………一本(小口切り)

ごま油……………大さじ二杯

酒……………大さじ二杯

砂糖……………大さじ一杯

しょうゆ……………大さじ三杯

みりん……………大さじ一杯

ごま……………大さじ三杯

■作り方

①ざるに小女子を入れ、熱湯をかける。

②フライパンでごま油を熱し、小女子とにんじんの皮、赤とうがらしをいためて酒を加えます。お茶殻を入れ、さらに砂糖、しょうゆ、みりんを入れていただきます。

③水けがなくなったら、火を止めてすりごまをまぶして出来上がりです。

お茶殻は、洗みが抜けて料理に混ぜても意外に抵抗感がありません。お茶に含まれているカテキン(タンニン的一种)やフラボノールなどの成分には動脈硬化を防いだり、血圧を下げるなどの効果があるといわれます。台所から出るごみをできるだけ減らす。私たちのちよつとしたアイデアは地球環境にとって大切なことです。

防災シリーズ

災害から身を守るために5

総務課防災係内線2217

風水害に備える(台風対策 その1)

熱帯性低気圧(熱帯地方の海上にできる低気圧)の中心付近の最大風速が毎秒十七メートル以上のものを台風と呼んでいます。発生数は年間平均二十七個ぐらいで、そのうち三―五個程度が日本に上陸します。六月から十月にかけて多く発生し、八月末から九月にかけては日本に上陸しやすくなります。台風による雨や風は進路によって想像以上の被害をもたらしますので、十分な対策が必要です。

今回と次回にわたって台風対策と避難の際の注意、そして日ごろの安全点検について考えてみましょう。

■台風は、進路や勢力などの予想がしやすいため、ニュース等で正確な情報を確実に入手する。

■停電に備えて懐中電灯や携帯ラジオ、予備の乾電池を忘れず準備する。

■避難に備えて貴重品など、非常持ち出し品を準備する。

■断水のおそれもあるので、飲料水を確保しておく。

■ベランダの鉢植えや物干しざし

おなど飛散の危険性が高いものは、室内にしまう。また、商店などでは看板のぐらつきにも注意する。

■窓ガラスのひび割れや、窓枠のぐらつきはないか点検する。

■強風による飛来物などに備えて外側から板でふさぐなどの処置をする。

■雨どいに落ち葉や土砂が詰まっているか点検する。

■わが家の周辺がどんな土地柄なのかかけておく。特に造成地や河川敷であった所では、状況に応じて速やかに対応できるように日ごろから準備する。



先人のあゆみ 14

川越市の保母第一号
吉田くらら（一八八九〜一九八〇）

大正から昭和の初期、苦難の戦中、戦後の混乱期と、まさに激動の時代において川越市保育所の礎を築いた吉田くらら。川越市の保母第一号として保母の仕事に生きがいを持ち、保育に献身しました。

● ● ●
吉田くららは、明治二十二年九月二十日、現在の比企郡小見野村（現在の川島町下小見野）に農業を営む岡安信平、はまの二女として生まれました。

明治三十六年、小見野村立尋常高等小学校高等科を卒業。二十歳を過ぎ、川越町の吉田家に嫁ぎました。二十九歳のとき、三人の子どもを残して夫に先立たれます。そこで、和裁の先生になって生計を立てようと川越町立川越実業補習学校に入学しました。

大正十一年三月、補習学校を卒業すると、同学校長菅野政五郎に勧められ、埼玉県主催の保母講習



を受講。大正十一年十月九日、川越町立託児所の保母になりました。託児所は大正十一年十月一日の創設。当時、埼玉県下の公立託児所は川越も含めて四か所という状況でした。川越尋常高等小学校（現在の川越市立川越第一小学校）の唱歌室を改造、畳三十二畳敷きの一室で始めました。初代の所長は同小学校の校長菅野政五郎が就き、保母はくらら一人でした。

開設当初は二歳から六歳までの子ども十一人が入所。多くは母親が生活費を得るため、働かなければならない家庭の子どもたちでした。子どもたちは着るもの履くものに事欠く貧しい家庭で、くらは自分の子どもも古着を持ってきては着替えさせ、保育の合間を縫って洗濯や繕いものをしました。

● ● ●
保母時間は規定では午前七時から午後六時までにもかかわらず、子どもを預ける母親の労働時間は長く、夕方の迎えも七時、八時を回ることもしばしばありました。また日曜日、祝日に関係なく子どもを連れて来ても、くらは快く引き受け、面倒を見ました。

● ● ●
「先人のあゆみ14」は「川越の人物誌・女性編」（川越市教育委員会発行）、「川越の保育史」（川越市発行）を参考にして、広報課でまとめたものです。

ひきひきシルバニ

郷土への思いやりはぐくむ

「芳野へちまの会」を結成し、地域の生活環境をよくしようとして活動している山田正二さん（83歳・鴨田）。へちまの化粧水や使用済み天ぷら油によるせっけん作りなどの指導と普及に取り組んでいます。

● ● ●
同会は、山田さんが農協を辞めて二年後の昭和六十一年に発足。代表として九年にわたり地域に根ざした学習を続けています。

● ● ●
へちまに目を向けたのは身近なものを見直し、生かして使うということから。作り方は、農業で得た豊かな経験と農業改良普及所等を通じて製法の資料を取り寄せるなどで勉強しました。「若いころから土で生きようと思いました。芳野は自分が生まれ育った所、奉仕するつもりでやっています」と言います。

● ● ●
「苦心したのは、へちまの汁と薬品を混ぜてろ過するところ。試行錯誤を繰り返しながらも、おもしろくなった」そうです。また、天ぷら油を利用したせっけん作りを始めた

のは五年前。川が汚れて、とんぼやかえるがいなくなると環境を心配したからです。グループはお互いに情報交換しながら学習することで、きずなを大切にしています。



● ● ●
「もっと家庭に浸透させたい。若い人にも積極的に参加してもらいたい」と次の世代に期待しています。

● ● ●
健康の秘けつは、十年間欠かさず早朝から伊佐沼周辺を散歩していることです。「景色がよい所に生まれてよかった」と笑みを浮かべながら話す山田さん。郷土を愛する優しさが伝わってきました。

川越市勤労者住宅資金融資の金利が8月10日融資実行分から2.9%（現行3.275%）に引き下がります。問い合わせ…商工観光課労政係☎内線2713

みんなの作文

楽しいプールが始まった

霞ヶ関北小学校四年

中村志乃



やっと晴れて、プールに入れた。じゅんじゅん運動を一分間ぐらいやった。みんな、

「次は、地ごくのシャワーだよ。」
「やだねえ。」
と、言っていた。今年、こし洗うそうがないから、体をよく洗うように先生から言われていた。わたしは、そんなに冷たくないだろうと思っていた。でも、すごく冷たかった。みんな、とても大きな声で、

「キヤー、冷たい。」
ときけんていた。わたしも言っってしまった。シャワーが終わると、プールの中に入った。もぐったり、流れるプールをしたりした。それから、先生が言った。「これから、A、B、Cに分かれて練習するから、どのくらい泳げるか調べます。」
そして全員二十五メートル泳ぐことになった。わたしはならぶのがおくれで止まって、後ろから三番目になった。前の人があんどん泳いでいく。わたしは、自分がどのくらい泳げるのか、心配になってきた。

とうとう自分の番がきた。プールの中にザブーンと、大きな音をたてて入った。

「よいい、ドン。」
わたしは、バタ足をしながら手をむ中になって動かしだした。心の中で、今どれくらいまで進んだろう、ちゃんとクロールで泳いでいるのだろうか、そんなことばかり考えていた。どんどん苦しくなってくる。力もぬけてきた。

● ● ●
（もうダメ。ここで顔を上げよう。できるとこまでやったらもう、これでいいんだ。）
と思いつつ顔を上げて立った。前を見るとまだ中央まで進んでいなかった。

● ● ●
「はい。その人、Bね。」
先生が言い終わると、すごくうれしかった。去年はCだったのだ。今年中に、いっぱい練習してAになれるようにがんばろうと思った。泳げるようになるのが、とても楽しみだ。

おしゃべり倶楽部77 気楽木 サルスベリ



ミソハギ科サルスベリ属の落葉高木。中国南部原産で、日本に渡来したのは江戸時代以前だそうです。「サルスベリ」は、木登りの上手なサルも滑り落ちそうなほど幹が滑らかなことから付けられた名前。特に夏は古い樹皮が薄くはがれてスベスベになります。ちなみに、ヒメシャラやナツツバキもこの名で呼ばれることがあるそうです。毎年、夏になると常楽寺（上戸）の山門に彩りを添える赤いサルスベリ。花は一日花ですが、つぼみが次々と開いていくので、長い期間楽しむことができます。「百日紅」という字があてられるのはこのため。今年は花の咲く時期が遅く、8月中旬になりそうです。

川柳

芳野川柳会

米櫃を気にせず食える自作米
同期会恋しき人に又会える
初孫の名付け嬉しい筆を持つ
この辞令わが人生を決めた紙
耳と鼻犬に借りた時もある
新年を迎えまぶしい割烹着
紙一重これで決まった価値誇る
新製品求めて財布軽くなり
仕付け取り着るよろこびを初詣
年賀状来て健在をたしかめる
もめ事がその一言で更にもめ
人の運辞令一枚泣き笑い
土地求め通勤時間倍になり
来客へ期待料理の手もはずむ
開発で追われた小鳥庭に群れ
余計とは言えぬお世話を持て余す
閑白のつもりにも妻の知恵がする

- | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------|------|------|--------|--------|-------|------|------|--------|------|-------|-------|-------|------|------|-------|------|
| 中老袋 | 菅間 | 喜多町 | 西小仙波町一 | 西小仙波町二 | 郭町二 | 末広町一 | 新宿町二 | 西小仙波町一 | 今福 | 新富町一 | 中老袋 | 今成 | 岸町三 | 鴨田 | 南通町 | 砂 |
| 新井健一 | 藤崎本男 | 小野健次 | 神保藤重 | 前田弘 | 茂木きぬ子 | 岡本光志 | 塩野章 | 小関藤枝 | 高橋新治 | 武蔵野夫人 | 江田美津代 | 正田美津代 | 石川洋子 | 長沢尚子 | 寺井正一郎 | 山崎凉史 |

もしもしコーナー 76



毎月十日発行の広報「短歌・俳句・川柳」の掲載基準を教えてください。

● ● ●
A 川越市の文化団体連合会に加入している団体に原稿を依頼しています。団体に所属する市民の方で、作品は、一人一首（句）に限らせていただいています。短歌は十六首程度。川越市短歌連盟に短歌会の順番や人数などを調整してもらい、一〜二団体の作品を掲載します。俳句・川柳は一回に二十句（合計）。各俳句会、川柳会に広報課から直接連絡し、順番で二〜三団体の作品を掲載しています。

● ● ●
団体に加入していない方の作品発表の場としては、市民文化祭があります。毎年、九月〜十一月にかけて行われ、今年も短歌、俳句、川柳、いずれの部門も作品を募集します。詳しい応募要項は、九月十日発行の広報川越でお知らせする予定です。市民文化祭についてのお問い合わせは中央公民館☎22-1394へ。



硫黄島戦没者顕彰碑の傍らに立つ渡辺さん

鎮魂の旅

渡辺美智子 (55歳・野田町2)

父が50年前に戦死した硫黄島を訪ねたい。そんな私の永年の夢が、硫黄島協会のお計らいでかなえられました。

4月25日、午前8時、入間基地から自衛隊機で出発。約2時間のフライトの後、硫黄島に降り立ちました。顔も知らない父ですが、食べる物も水も無い孤島で、家族を気遣いながら死んでいったかと思うと、とめどなく涙が流れました。わずかに生還された方々が、当時の戦闘の様子を話し、

戦死した場所もわからないむなしさを覚えつつ、自由に渡れない地に立てただけでも満足しなければと自分に言い聞かせました。

昭和20年3月10日の東京大空襲で母と妹を奪われ、はからずも親戚の家に残された私にも、人知れず涙を流すつらい日々がありました。戦争とは、勝っても負けても大きな犠牲が残ります。私の戦争は、死ぬまで続くでしょう。

イラストコーナー



吉田あかね (16歳・かわつる三芳野)



(上写真) 激励に訪れた舟橋功一市長とお話できました。(左写真) サッカーは楽しいね。

はーとふる

ふれあいので培う福祉のこころ

高校生ワークキャンプから

夏休みを利用してボランティアを体験し、福祉についての理解を深めてもらおう。川越市社会福祉協議会では、昭和五十九年から高校生を対象にワークキャンプを実施しています。今年も、七月二十五日から二十八日までの三泊四日で行われ、女子高校生十九人(十三校)が研修生として施設のお年寄りや在宅障害児と交流しながらボランティアを体験しました。二日目の二十六日は、東京国際大学(的場北一)のクラブハウスを会場に、肢体不自由児(日高養護学校生)と工作やゲームなどの遊びを通してふれあう体験学習。始めは、どう接していいのかわからず緊張気味の研修生。ボランティアグループ「紙ふうせん」の協力を得ながら子どもたちとふれあううちに表情も和らぎ、打ち解けた雰囲気会場に広がりました。「思ったよりたいへんですが、気分よくていいですね。将来は看護師になりたいです」とさわやかに話してくれた笠原麻衣子さん(川越女子高二年)。研修生たちの目が、輝いて見えました。

まちのできごと 109 パレット

川越市の面積は109.18km²



心をこめて作りました

川越少年刑務所など主催の「川越矯正展」が、7月20日~24日に丸広百貨店川越店で開催。同展は、全国各地の刑務所作業製品の展示即売をはじめ、刑務所の教育活動や職業訓練などを紹介し、犯罪防止と受刑者の更生に理解を深めてもらうのが目的。会場は、心をこめて作られた製品を買い求める人たちにぎわっていました。

小江戸の山車、江戸を行く

7月22日、東京都台東区の「うえの夏まつりパレード」に六軒町と宮下町の2台の山車が招かれて出演。コースは、上野広小路交番前から上野公園前交差点までのおよそ300m。優雅に進む絢爛豪華な山車、見せどころ聞かせどころの囃子の競演「ひっかわせ」。沿道を埋め尽くす観衆に、川越まつりを十分アピールしてきました。

甘くておいしいけれど

お菓子やジュースは、子どもたちの好物。では、お菓子やジュースに含まれる糖分や着色料はどのくらい? 7月28日、生活情報センター主催の「ちびっ子消費者カレッジ」が、県川越消費生活センターで開かれました。子どもたちは、自分が食べたり飲んだりする物に何がどれだけ含まれているか、ちょっと気になった様子。



川越百万灯夏まつり

小江戸の夏が騒ぎだす'95



小江戸川越に夏を告げる「川越百万灯夏まつり」。今年も7月20日から始まり、22日のふれあいサンバ、23日の手づくりみこしがそれぞれにぎやかに繰り広げられました。小江戸の夏が騒いだ2日間をご覧ください。



▲脚線美に注目!



▶人力車も登場



▼ナイスパートナー

▼フィナーレ。また来年会いましょう



▶お祭り大好き



川越百万灯夏まつり 小江戸の夏が騒ぎだす'95 川越百万灯夏まつり

7.23(日)

手づくりみこし 大行進



▼おみこしも本格的



7.23(日)

高い所はいい眺め



▶時の鐘をバックに、これぞ小江戸の祭り

▼疲れたけど、もう少しワッショイ!



和紙にたくして 17

すもも

文 はの絵
新井紀子
新井時子



新暦八月のお盆が近づいて今年ももぎたての李が届きました。

「ビタミンがたっぷりあるのよ…」

私たちの体を心配し

心にかけてくれる婦長さん。

さりげない言葉の中に

あなたかきを感じます。

病院から縁の切れない私たちだけれど

何とか元気なこの夏も過ごせそうです。

氷川神社の祈籠に

奉納されたこともある

太陽という名の真っ赤な李。

甘酸っぱい実を口にする

夏の出来事に

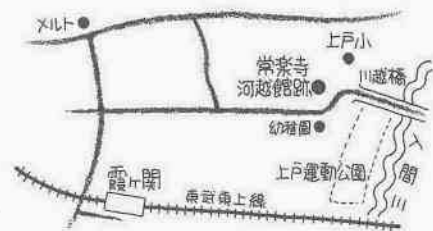
もう一つやさしさが加わりました。

どろんどろん

編集日記

夏の暑い日に食べるかき氷の冷たさは格別。近ごろは「フラッペ」と称する西洋風のもの幅をきかせていますが、ガラスの器に氷を盛ってイチゴ、メロンなど、好みのみつをかけただけのほうが夏らしい情趣をそそります。先日、娘と散歩に出かけ、見慣れた「水」と書いてある旗を見つけました。早速、イチゴを注文後、店を見渡すとこの旗も売っているような。最近インテリアの一部として若い人たちに人気があるとのこと▶まだまだ暑い盛りです。夏バテに打ち勝つには睡眠と栄養が大切。わかっているのですが、つい夜更かしをしたり、冷たいものを取り過ぎたりしてしまいます。

表紙の写真(河越館跡と常楽寺・上戸)



TV

わが街川越 番組ガイド

- テレビ埼玉 火曜日 午後5時30分～・午後10時15分～
- 川越ケーブルテレビ 水曜日 午後8時45分～
- 木～土曜日 午後5時45分～・午後11時45分～
- 日曜日 午後5時45分～

■一部変更になることがあります。あらかじめご了承ください。



「戦時下の川越」展から裁縫の授業の様子

戦時下の川越

今年は、戦後50年目を迎えました。大きな空襲もなく終戦を迎えた川越。しかし、市民生活では多くの制約や犠牲を強いられました。番組では、市立博物館で開催中の「戦時下の川越」を紹介します。

夏休みに親子で施設めぐり

リサイクルセンター、総合福祉センターなどの施設見学、舟橋功一市長との市政懇談会が行われた「夏休み親子施設めぐり」を紹介します。参加者は、親子で楽しみながら川越について学びました。

テレビ埼玉 (38ch)

8.15(火)	戦時下の川越
8.22(火)	夏休みに親子で施設めぐり
8.29(火)	戦時下の川越

川越ケーブルテレビ (15ch)

8.16(水)～	「オアシス」オープン
8.23(水)～	川越の伝説
8.30(水)～	「小江戸の夏が騒ぎだす'95」

8.16(水)

午後7時～7時54分

テレビ東京 12ch

「いい旅・夢気分」で川越が紹介されます。

広報川越 868

発行/平成7年8月10日(毎月10日・25日発行)

発行人/川越市長 舟橋功一

編集/川越市広報課 〒350 埼玉県川越市元町1-3-1 ☎0492-24-8811内線2132

印刷/街青山印刷